

停電・断水時の対応

停電や断水になったら

- 停電や断水になると便器の水を流せなくなります。状況に合わせて次の方法で対応してください。

停電になったら

停電したときの便器洗浄のしかた

- 便器に向かって右側のすっきりパネルをはずし、便器洗浄つまみを操作して水を流してください。

すっきりパネル取りはずし・取り付けかたは [15. 51. 52ページ](#)

1 便器洗浄つまみを2秒以上奥側に回す

便器洗浄（大洗浄）します。

2 水が流れ終わったら、つまみを手前に回す

便器内に水を溜めます。



断水になったら

- 断水になったらオート洗浄の設定を「切」にしてください。

オート洗浄を使わないときは [31. 32ページ](#)

- 大きめのバケツに水を入れ（8Lが目安）、便器ボウル面の中心をめがけて流してください。このとき、便器ボウルから水があふれないように注意してください。

- 便器の回りに新聞紙などを置き、床をぬらさないようにしてください。

- 流した後、便器ボウル面の水位が低くなった場合は水をすぎ足してください。便器配管からのにおいを防ぎます。



凍結による破損の予防及び長期間使わないときの処置

処置しましょう！

1: 凍結が予想される時

- 凍結が予想される時 節電はしないでください。凍結により製品が破損することがあります。

タイマー節電をやめるときは [40ページ](#)

おまかせ節電をやめるときは [42ページ](#)

スーパーおまかせ節電をやめるときは [42ページ](#)

周囲の温度が氷点下にならないように、トイレ内をあたためるか、できないときは水抜きを行ってください。凍結のおそれがある場合は、次の手順に従って予防してください。

製品が凍結すると部品が破損し、水漏れの原因になります。

※便器の種類によって、凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

便器の種類は [69ページ](#)

ご注意

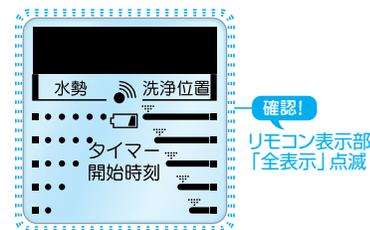
凍結予防の作業前には、**オート機能**、**入切**、**入切**、**入切** を「切」にして、便座・便ふたを閉めた状態にしてください。

凍結予防のしかた（流動方式）

- 便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流して凍結を予防する方法です。

1 リモコンの **止** を10秒以上押す

- リモコン表示部がすべて点滅します。



2 リモコンのカバーを開けて

節電 **入切** を押す
タイマー

- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると「ピッ」という電子音が鳴ります。

- ウォシュレット本体がリモコンの信号を受け付けると、「切」のときは「ピーッ」という電子音が鳴ります。

